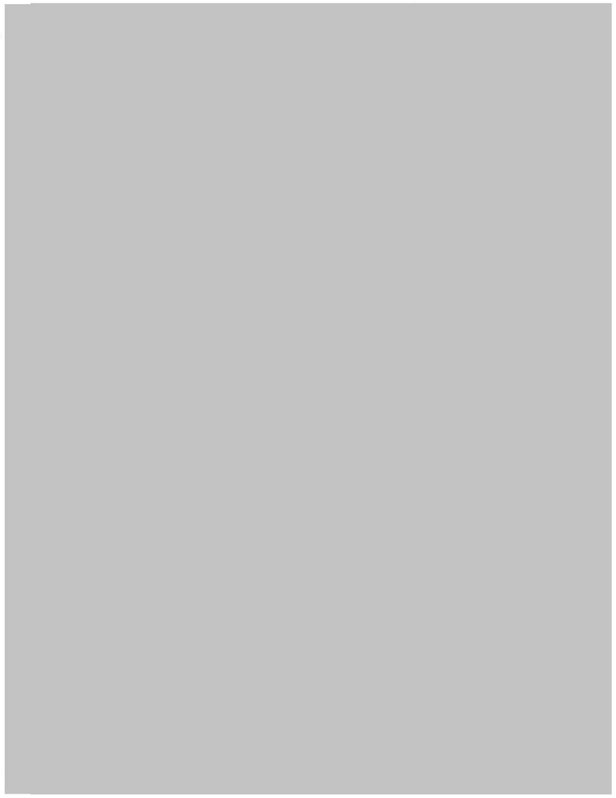
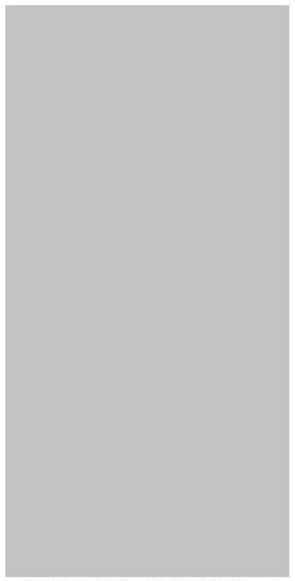
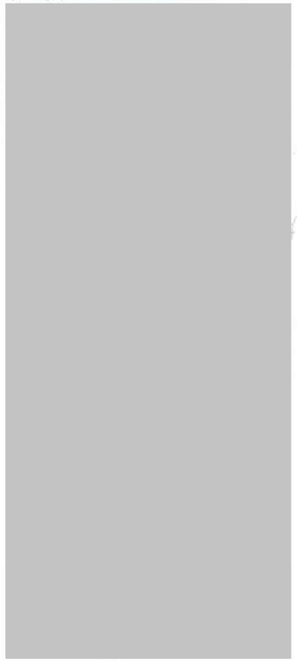
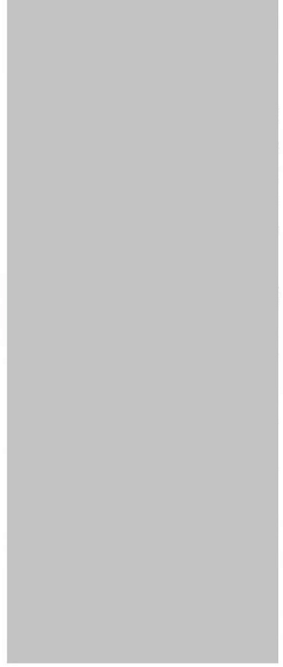




男女の育毛原料として注目 OEM拡大アガリクスKA21

東栄新薬の露地栽培アガリクスKA21は、複数のヒト試験において脱毛や髪質改善などの効果が確認されている。健常人（男女）を対象とした臨床試験では、アガリクスKA21を1日1,500mg・12週間摂取することで、抜け毛や白髪などの改善効果が認められた。さらに、至学館大学健康科学部との共同研究により、50～69歳の男性シニアプロゴルファーを対象に1日900mgを2カ月間摂取した臨床試験では、抜け毛や勃起不全（ED）、男性更年期に伴う心身の不定愁訴の改善に加え、アスリートのパフォーマンス向上も確認された。これらの成果を踏まえ、本年2月には、アガリクスKA21の摂取による男性更年期障害・勃起不全（ED）の改善に関する特許を取得した。

男女問わず体感性が高いことはもちろん、更年期の不定愁訴やストレス緩和においても効果が実感しやすく、リピート率が高い点が魅力である。AGA治療薬のフォローアップサプリの主原料として、医療機関での作用実績を積み重ねているほか、直近1年間では女性向けエステサロンやヘアサロンに向けたOEMも好調という。

同社ではアガリクスKA21の更なる機能性探索を進めており、6月に開催された第26回日本抗加齢医学会総会では、東京薬科大学と共同でアガリクスKA21由来β-グルカンによる免疫調整作用や肝機能保護への新たな知見を優秀演題として発表した。